

監査委員意見書（抜粋）

令和5年度一般会計及び特別会計の主たる事務事業については、正確であり適正妥当であると認めた。また、各種基金においても適正に運用されていることを記述し、総括とし監査委員意見書とする。

(1)移住定住支援対策について

移住定住支援策の成果が表れている一方で、移住先が関地区に集中していることから、他地域の人口減少が際立つ状況にあります。

(2)住環境と空き家対策について

住みたい住宅応援条例の制定により、解体件数が28件と進み、近隣住民の安心・安全にも大きく貢献しているものと評価されます。

(3)町税及び各種使用料等の収納対策について

町税滞納は減少していますが、上下水道使用料は滞納繰越額が高額になっています。一層の効果的な収納対策を講じるよう望みます。

(4)指定管理施設の運営について

各指定管理施設は、交流人口拡大に大きく貢献しているが、一部の指定管理施設では赤字決算となっており、町と指定管理者は引き続き連携して取り組む必要性を強く感じます。

(5)物品の町内調達拡大について

町外事業者からの購入が散見されるが、町内事業者の売上拡大による経済循環、雇用維持の観点からも官民一体で「買う工夫・売る工夫」が不可欠と思われま

(6)施策・事業の評価検証について

長年に渡る事業が多数見られるので、より効果的に執行されるように、PDCAサイクルの確立、進行管理の実施が不可欠と思われま

(7)普通会計の決算統計による財政分析指標について

財政の柔軟性を示す経常収支比率は、「85.6%」と前年比0.2ポイント上昇しているが、他の主な財政指標は特に問題もなく全体として健全な財政運営が行われているものと判断されます。今後も、町民の理解と協力を得ながら最小の経費で最大の効果を上げるべく、引き続き不断の創意工夫をもって「小さくとも持続可能な町」の実現が達成されることを期待します。

代表監査委員 神尾重行



～今回の表紙は～

52回七ヶ宿町民体育大会が開催されました。新しい保育所で一生懸命練習したこどもたちから小学生、中学生、高校生と地域の皆さんがしっかり盛り上げた大会となりました。

また議員各位も選手として、裏方さんとして大会に参加しておりました。

この大会がこれからも継続できるよう、皆さんの力で盛り上げていきましょう。

決算特別委員長審査結果報告書（抜粋）

本委員会は9月6日より9月10日までの3日間にわたり開催し、決算の全般的な事項及び内容等について審査を行いました。その結果一般会計外8特別会計決算について全員一致で認定いたしました。ただし、詳細に審議した中で各委員より次のような意見が出されました。



- 1、農林業は人口減少が進む町に欠くことの出来ない産業であることから、町の各施設の利用団体にはその役割を十分に果たす行政指導が必要である。
- 1、畜産農家は物価高により飼料が高騰しているため、更なる支援が必要である。
- 1、町の指定管理団体には、健全なる経営と収益が上がるよう、経営の監視と徹底した指導をすべきである。
- 1、町民に支援した物価高騰対策生活支援金（商品券）について、今後も定期的に継続すべきである。
- 1、町の「くらし研究所」の事業内容は、NPO法人でも対応できる内容でもあることから、町の指定管理から切り離すなど、運営方法を再考するべきである。

最後に、監査委員から示された意見書の内容についても重く受け止め、町民を主体とした行財政運営を強く望み、委員長報告とします。

決算特別委員長 渡部英幸

「行政執行への提言書」を提出



▲正副議長が町長へ提出しました

令和6年第3回定例会に示された令和5年度の決算内容について審査した結果、各委員から出された意見を集約し、行政執行に対する提言として町長に提出しました。

提言書の内容については、上段に記載した決算特別委員長の報告の各項目を「地域産業振興政策」や「地域生活支援政策」、「管理施設運営政策」に分け提言としましたので、委員長報告の内容をご確認ください。